

区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名	—	—	—	—	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	623	596	633			
	(3)運営日数	240	241	245	245		
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	
		②臨時職員	1.0	1.0	1.0	1.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	4,179,055	4,280,012	5,143,241	6,532,000	
	②印刷費	105,525	121,385	254,787	144,000	
	③通信費	149,654	151,372	152,634	198,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	369,392	449,361	406,232	448,000	
	⑤借上料	2,979,816	2,219,616	2,013,261	2,539,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	78,830	76,150	67,170	77,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	387,100	271,772	396,634	424,000	
	計	8,249,372	7,569,668	8,433,959	10,362,000	
	対前年度増減率		△ 8.2	11.4	22.9	
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	545,834	531,511	555,687	532,000	
	電気保安管理業務	149,940	149,940	168,000	149,940	
	消防設備保守業務	55,377	55,377	55,377	55,377	
	空調機器保守点検業務	42,000	42,000	52,500	42,000	
	剪定・除草・病虫害駆除業務	128,417	114,094	109,710	114,583	
	トイレ清掃業務	117,600	117,600	117,600	117,600	
	ヘルストロン保守点検業務	52,500	52,500	52,500	52,500	

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	472,138	836,019	767,451	454,000	
	③光熱水費	1,237,579	1,041,137	928,969	1,670,000	
	④燃料費	—	—	—	—	
	⑤清掃費	—	—	—	—	
	⑥保守点検費	—	—	—	—	
	⑦その他(施設消耗品)	—	—	—	—	
	計	2,255,551	2,408,667	2,252,107	2,656,000	
	対前年度増減率		6.8	△ 6.5	17.9	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		10,504,923	9,978,335	10,686,066	13,018,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		78.5	75.9	78.9	79.6	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		6,330	6,330	9,210		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		0.1	0.1	0.1		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	6,330	6,330	9,210	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	10,504,923	9,978,335	10,680,066	
a)-b)	△ 10,498,593	△ 9,972,005	△ 10,670,856	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入				
b) 指定管理料				
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入				
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	老人福祉法に基づく老人福祉センターとしての設置目的を十分に理解し適正な管理運営が行われている。高齢者に対する健康増進・教養向上・レクリエーション事業として、自主クラブ、老人クラブの活動支援や、健康づくり教室を開催し、生きがいを感じられる場を数多く提供している。	利用者とのコミュニケーションを積極的に図ることにより、ニーズを把握し、自主クラブの開催日の増加を図り、大東地区の高齢者の活動拠点・憩いの場としての役割を担っている。今後も、継続して事業の改善を行い、サービス向上、利用者の増加を図っていく。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	利用者の推移は、ほぼ横ばい状況(前年比105%)である。指定管理者は利用者が気持よく利用するための環境美化に努めるとともに、クラブ活動で創作した作品の展示を行い、利用者の生きがいにも繋げている。利用者満足度調査によると、清掃、スタッフの対応といった項目で、利用者の満足度は非常に高い水準を示している。	利用満足度調査によると、利用者は70代から80代が81%を占めている。また利用回数については4回以上のリピーターが80%を占めている状況である。今後は、実施事業の魅力向上や新しい事業の検討を行い、事業実施に関する利用者満足度を高めることで、クチコミ等による新規利用者を取り込んでいく。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	利用者の満足を得ながら効率的に施設運営を行っている。指定管理者である社会福祉協議会は、本業務とは別に市から高齢者の生きがいと健康づくり教室の開催を受託しており、施設管理職員が兼務で業務にあたることができ、効率的な事業運営だけでなく、人件費の面からも効率化が図られている。	今後も効率的な運営に努めるとともに、利用者アンケート等による利用者のニーズやウォンツを把握し、事業展開を図る。社会的に高齢者人口は増加していることから利用者の増加は見込むことができるため、老人クラブや生きがい事業との連携により効果的な事業を検討する。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	高齢者人口が増加していくなかで、老人福祉センターの必要性は高まっていく。利用者満足度調査からもニーズを把握したサービス提供がされている。また市内には老人福祉センターが2か所設置(大東・大須賀地区)されているが、それぞれの地区の老人クラブ支部活動拠点としての位置づけや、高齢者の交通手段と移動距離から考えても統廃合は難しい。	新規利用者を確保するため、生きがい事業参加促進のための事業PRや、クラブ活動のPRを積極的に行い、地域の高齢者が健康で明るい生活を営めるよう、同世代の仲間づくりの場として趣味や教養の向上、親睦の機会の提供を通じて高齢者の社会参加を支援していく。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	施設の老朽化	修繕箇所の把握と優先度により計画的な改修を行う。また、老朽化が利用者の満足度低下に繋がらないよう、常日頃の環境美化に努める。

5 その他自由意見